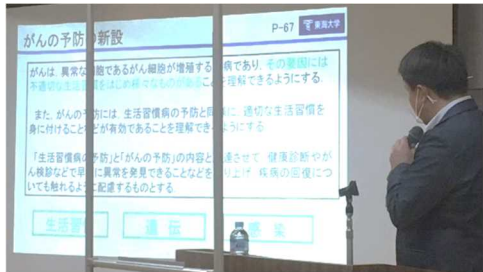
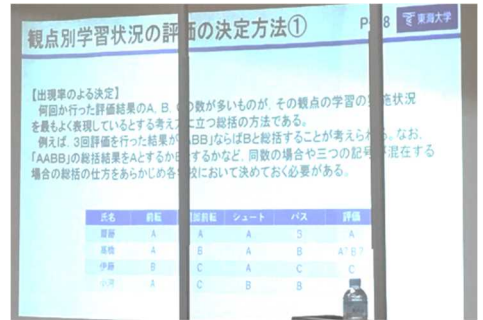


保体(中)部会 理論 研修会 終了報告

テーマ	新学習指導要領スタートに向けて ～必要な知識と準備しておくべきことを確認～	
日時	令和2年11月6日(金)	
会場	研修センター	
講師	高橋 正年 氏 (東海大学 札幌キャンパス 保健体育科教育学研究室 講師)	
参加者	26 名	
研修会の様子		講師の先生は、19 年間教職員として働き、そのうち教育大付属中学校に 10 年ほど勤務。そして、一昨年から現職についた若手研究者です。 教員の実情を理解しつつ、文部科学省の方針を分かりやすく説明して頂きました。
		研修会は、ソーシャルディスタンスを取りながら実施することができました。本来ならもっと多くの参加者に来て欲しい所でしたが、今回はちょうど良い参加人数でした。
		前半は、次年度から実施される新学習指導要領の確認をしました。文章だと理解が難しい箇所や特に注意して欲しい所を分かりやすく説明して頂きました。 文言の解釈のズレや保健の単元の履修漏れがないかなど、確認ができました。
		後半は、「評価・評定」について教えて頂きました。評価・評定は、新学習指導要領の実施に向けて先生方が一番心配しているポイントです。 新学習指導要領では、評定における技能の占める割合が 16%しかありません。これに違和感を覚えますが、まずは私たちが保健体育に対する考え方も変えていかなければなりません。
		国立教育政策研究所の評価方法について紹介されました。それぞれの観点の見方と評定までの流れを確認することができました。 他にもアクティブラーニングの話も用意して頂いていましたが時間が足りませんでした。残念ではありましたが、非常に有意義な時間となりました。 次年度に向けて良い準備ができそうです。